

2025 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金 研究成果報告書概要（WEB 公開用）

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [鈴木 義智]

学年・組・番号 [2 年 2 組 1 5 番]

研究課題： 生活に関わる数値をもとにした統計学的分析

（英文） Statistical analysis of numbers related to daily life

研究概要：

（研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200～400 字で記入してください）

データと統計に関する書籍を購入して学習を行った。その学習内容を生かして神戸大学主催のコンペティションに参加し、優勝を目標に取り組んだ。コンペティションでは、エクセルを用いてデータの整理・分析を行い、与えられた課題の「デパートの成長戦略」について考察した。また、コンペティションで得られた統計的な分析結果を、学習発表会においてポスター形式で発表した。さらに、都内にある早稲田大学附属校および系列校について、各塾が公表している偏差値の推移データを調査し、今後の偏差値推移を予測して発表した。加えて、笠井と鈴木は、統計に対する理解をさらに深めるため、統計検定 3 級を受験する予定である。

研究成果：

（研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200～400 字で記入してください）

コンペティションでは、データ分析の結果をもとに、経営改善のためには「集客面」「顧客満足度」「サービス面」の 3 つの観点からの改良が必要であると結論づけた。まず集客面では、6 階および 9 階の各フロアでのみ販売されている商品の魅力を生かし、それらの宣伝をより積極的に行うことを提案した。次に顧客満足度の観点では、同様に 6 階および 9 階において接客態度や商品の質に課題が見られたため、スタッフの育成や取り扱い商品の見直しを行う必要があると考えた。さらにサービス面では、百貨店全体を対象として、独自の会員カードの作成やラウンジ設備の導入など、新たな付加価値を提供することを提案した。以上の 3 点を改善策として動画やポスターにまとめて発表した。惜しくも予選突破には至らなかったが、仲間とのコミュニケーション、特に報告と相談の大切さを学ぶことができた。

研究者：（以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する）

研究代表者 鈴木 義智

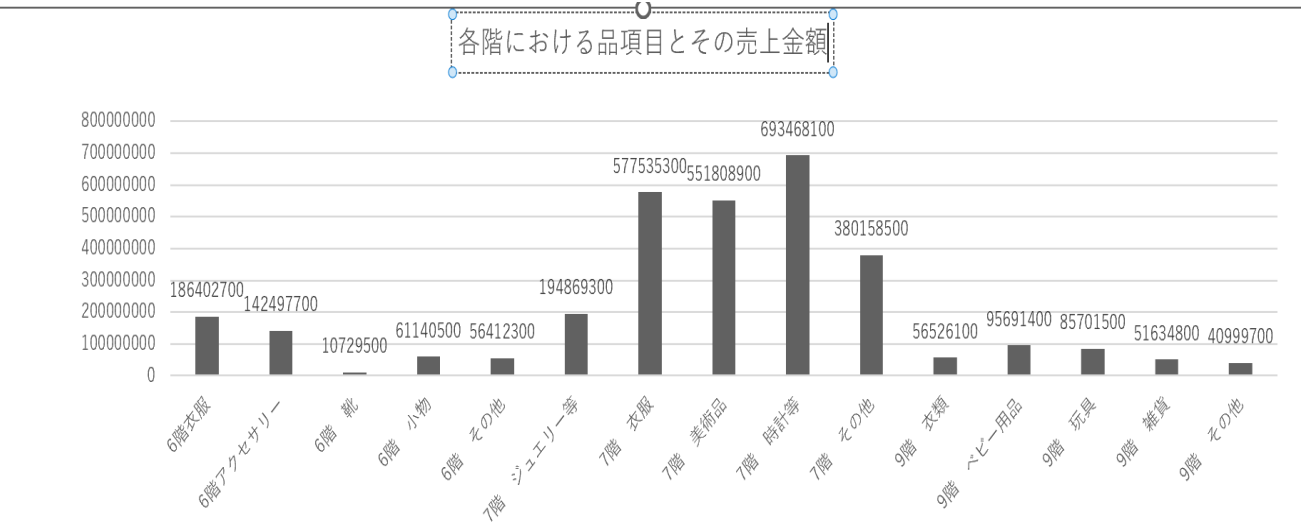
研究分担者 笠井 拓翔 須之内 颯吾 戸塚 万貴

野澤 蒼生 横田 基生

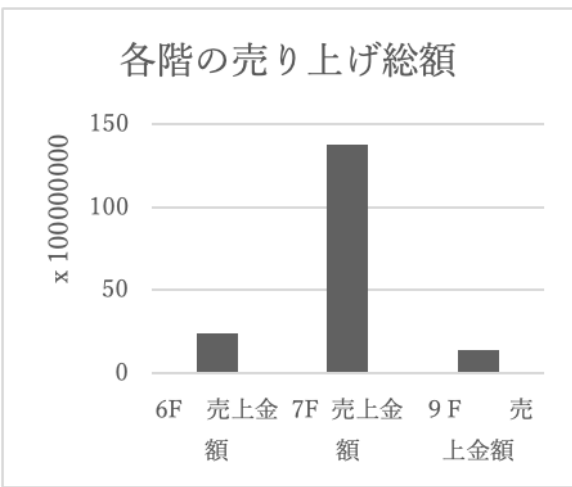
担当教諭 登口 大 （受給額： 20,000 円）

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
（次のページに続きます）

研究成果写真：
(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



		男女		
		男	女	計
年齢ごとの人数	20未満	0	0	0
	20代	30	25	55
	30代	306	547	853
	40代	157	335	492
	50代	116	134	250
	60代	126	70	196
	70代	33	19	52
	80歳以上	0	0	0
計		768	1130	1898



OBE百貨店 9階
会員様限定ラウンジ

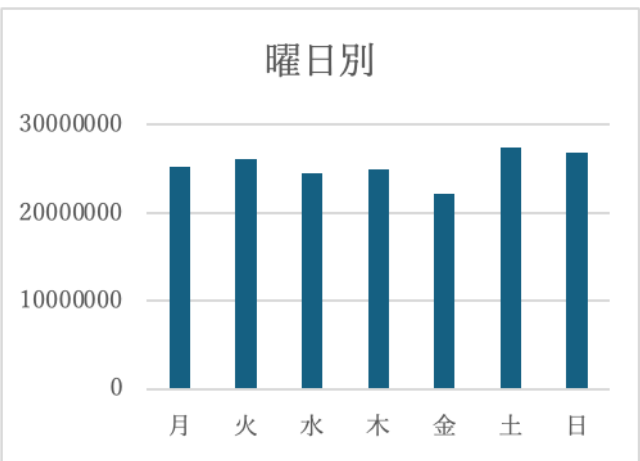
ポイントカード会員

- 登録済みの方は ラウンジ1日2時間無料
- 2,000円以上のお買い上げでドリンク3杯無料
- 7,000円以上のお買い上げでドリンク飲み放題

ポイントカード未所持のお客様

- 10,000円以上のお買い上げでラウンジ1時間利用+ドリンク2杯無料

神戸の街並みを一望し、優雅なひとときを。



以上